

平成 22 年度福岡県看護協会 助産師職能養成研修

助産師実習指導者コース

急速な少子高齢化の進展や疾病構造の変化、国民の医療に対するニーズが拡大する中、患者の視点に立った安全・安心で質の高い医療の提供と同時に、患者・国民が自らも積極的・主体的に医療に参加できるように、看護職員には医療安全の推進や、患者・家族との十分なコミュニケーションによる適切な医療の選択の支援、在宅医療の充実による患者の生活の質の向上を支援すること等が求められている。

助産師は出産を扱うだけでなく、妊娠、出産、産褥期の女性や新生児のケアはもとより、次世代を育む母子や家族の支援、女性の生涯を通じた性と生殖をめぐる健康への支援等、期待される役割が拡大している。一方で、看護業務の複雑・多様化、国民の医療安全に関する意識の向上等の中で、学生の看護技術の実習の範囲や機会が限定される傾向にある。

そこで助産基礎教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導ができるように必要な知識技術が習得できる研修にしたい。

1. 教育目的・教育目標

- 1) 目的：助産教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解すると共に、効果的な実習指導のために必要な知識・技術を修得することを目的とする。
- 2) 目標：(1) 助産師教育の現状を学び、実習指導者の役割を理解できる。  
(2) 指導の原理の一連のプロセスを理解し、実習指導に役立てるための指導案の作成ができる。  
(3) 望ましい指導者像にむけて自己啓発を継続させる姿勢を持つことができる。

2. 開催期間・時間

42時間（7日間）

平成21年7月31日（土） 8月1日（日） 8月7日（土） 8月8日（日）  
8月28日（土） 8月29日（日） 9月18日（土）  
9：30～16：00（9：30～12：20・13：10～16：00）

※1日目 9：15～ 開講式・オリエンテーション

7日目 16：00～ 閉講式

3. 会場：ナースプラザ福岡

4. 定員：20名

5. 受講資格：1) 福岡県看護協会の会員および非会員で、実習指導にあたる助産師。

2) 7日間の日程を通して受講できる者

※7日間を通して受講された方には受講証明書を発行します。

6. 受講料：会員 28,000円

非会員 42,000円 ※会員優先

7. 研修計画：別紙参照

8. その他

研修終了後、レポート提出（2,000字程度、10月9日までに）を予定しております。

詳細につきましては、研修初日に説明をいたします。

## 研 修 計 画

別紙

	テーマ／ねらい	内容	講師
7/31 (土) 1日目  松本 勝田 後藤	<b>教育原理</b> ・教育の意義や基本的概念について学ぶ。 <b>教育心理</b> ・人間の発達と学習過程における心理的な特徴について青年期を中心として理解する。	1. 教育原理 教育の意義・目的 教育活動の特性 2. 教育心理・発達心理 ・青年心理 学習過程における心理 現代青年の心理と行動	福岡教育大学 名誉教授 横山正幸
	<b>実習指導の評価</b> ・実習における評価の意義や方法を理解する。 <b>看護教育課程</b> ・助産師教育課程（看護基礎教育課程）についてその概要、助産過程の展開を学び実習指導につなげる。	1. 社会の変化と助産師教育の現状（母性看護学と助産学の違い含む） 2. 助産師教育カリキュラム改正のポイント 3. 助産学実習の現状 4. 助産師の職業倫理 5. 無資格助産学生の実習における安全保障	九州大学医学研究院 保健学部門看護学分野 広域生涯発達看護学講座 教授 平田伸子
8/1 (日) 2日目  松本 後藤	<b>教育方法</b> ・教育の基本的な方法や技術についての理解を深める。 <b>教育評価</b> ・教育評価の意義と方法について理解する。	1. 教育方法 授業の形態・授業の方法 教育方法と教材の活用 2. 教育評価 教育評価の目的と特質 教育評価の方法と基準 3. 実習指導の評価 実習指導の評価の意義と方法 実習指導の展開と評価	福岡県立大学 看護学部長 大学院看護学研究科長 佐藤 香代
	<b>実習指導の原理</b> ・実習指導の基本と実習指導者のあり方について理解する。	1. 臨地実習の意義（目的） 2. 実習指導案の意義（必要性） 3. 実習指導案の構成要素 4. 実習指導案作成上の留意点 5. これからの望ましい指導者像 ～学生の主体的実習を支援するために～	西南女学院大学 教授 浅生 慶子
8/7 (土) 3日目  松本 小石原 後藤	<b>実習指導の実際 I</b> ・実習指導計画の立案と指導方法を理解する。	1. 実習指導案立案 教育目標と実習目標との関連性 実践場面から教育内容の抽出 教材の考え方 ※学生観・教材観・指導観 2. 実習指導方法 3. カンファレンスの意義と効果的なすすめ方	九州大学医学研究院 保健学部門看護学分野 広域生涯発達看護学講座 准教授 新小田春美

	<p>実習指導の実際 II-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、現場の指導者からその実際を学ぶ。</li> </ul>	現場での指導の実際	<p>九州医療センター 師長 倉富明美</p> <p>筑紫クリニック 師長 木原</p>
<p>8/8 (日) 4日目</p> <p>川越 新委員</p>	<p>実習指導の実際 II-2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>聖マリア学院大学看護学部母性看護学看護学准教授 大町福美</p> <p>独立行政法人国立病院機構九州医療センター 教員 高杢裕子</p> <p>独立行政法人国立病院機構九州医療センター 産科師長 倉富明美</p>
	<p>実習指導の実際 II-3</p> <p>実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</p>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
<p>8/28 (土) 5日目</p> <p>小石原 勝田</p>	<p>実習指導の実際 II-4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
	<p>実習指導の実際 II-5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
<p>8/29 (日) 6日目</p> <p>後藤 新委員</p>	<p>実習指導の実際 II-6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
	<p>実習指導の実際 II-7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案作成</p> <p>※グループワーク</p> <p>内容：同前</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
<p>9/18 (土) 7日目</p> <p>松本 後藤</p>	<p>実習指導の実際 II-8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案発表・意見交換まとめ</p> <p>1) 妊娠期のケア指導案</p> <p>2) 分娩期のケア指導案 (分娩第1期)</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>
	<p>実習指導の実際 II-8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導の展開について理解を深め、演習等を通してその実際を学ぶ。</li> </ul>	<p>1. 実習指導案発表・意見交換まとめ</p> <p>1) 分娩期のケア指導案 (分娩第2期・ハイリスク分娩)</p> <p>2) 産褥期・新生児期のケア指導案</p>	<p>大町 福美</p> <p>高杢 裕子</p> <p>倉富 明美</p>